

猪苗代町体験交流館からのお知らせ

■スポーツ少年団総合体育大会

第23回猪苗代町スポーツ少年団総合体育大会は10月10、11、17日の3日間、カメリーナと運動公園で開催されました。参加した児童たちは、日ごろの練習の成果を發揮し、それぞれの種目で熱戦を展開。会場に詰めかけた関係者や家族らは、児童の頑張りに熱い声援を送りました。

【団体競技の結果】

- ◎サッカー【優勝】猪苗代スポーツ少年団
- ◎ソフトボール【優勝】長瀬スポーツ少年団
- ◎ミニバスケットボール男子【優勝】猪苗代スポーツ少年団
- 同 女子【優勝】長瀬スポーツ少年団

このほか、バドミントン、卓球、柔道などの競技が行われました。大会の詳しい結果は町ホームページの「生涯学習」コーナーで紹介しますので、そちらをご覧ください。



ミニバスケットボール男子優勝の猪苗代スポーツ少年団(左)と女子優勝の長瀬スポーツ少年団

■門松作りに挑戦しよう

もうすぐ師走。そしていよいよ新年がやってきます。自作のわら細工で新年を迎えませんか。今年の教室は門松作りに挑戦します。気軽に申し込みください。

●日時

- ①12月8日(水)
- ②12月22日(水)

いずれも、午前10時～正午

●場所：学びいな展示ホール

●内容と費用

- ①ミニ門松(30号のもの1対)1,500円
- ②門松(110号のもの1対)2,000円

●定員：①ミニ門松20人②門松10人

●申し込み：11月25日(木)までに、学びいなに申し込んでください。(申込時に、①か②の希望日をお知らせください) ※なお、希望者が5人に満たない場合は中止とします。また、毎年実施してきました「しめ縄作り」は、材料の確保ができないため、今年はいりません。



猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

■第1回ブルーレイク ハーモニー発表会

ブルーレイクハーモニーによる合唱の発表会を開催します。皆さんの来場を心からお待ちしています。

- 日時：11月28日(日)
午後1時30分開演
- 場所：学びいなホール
- 費用：無料

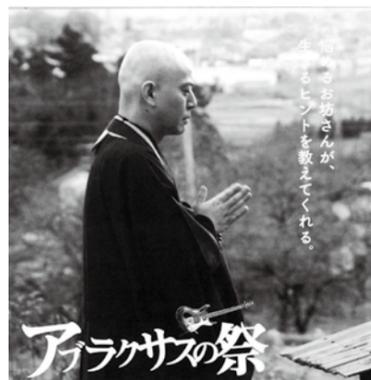


■アブラクサスの祭(映画上映開催)

～現役僧侶で芥川賞受賞作家・玄侑宗久氏初の映画化作品～
そのままがいい、そのままで正しいんだ――。悩みを抱えた浄念を通じて今を生きるための禅の教えが心に響く感動作

音楽に向き合うことで懸命に生き抜こうとする僧侶・浄念の再生と、彼を支えながら癒されていく周囲の人々を描いた愛おしい物語。

- 日時：12月4日(土)
- ①14時(開場13時30分)
- ②18時30分(開場18時)
- 場所：学びいな
- 費用：1,100円(チケットは、学びいなと町体験交流協会にて販売)
- 主な出演者：スネオヘアー、本上まなみ、村井良大、ほっしやん、たくませいこ、山口拓、會田茂一、中尾憲太郎、小松正宏、草村礼子、小林薫



町民球技大会中央大会の結果

町民球技大会中央大会のソフトボール競技は9月26日に行われ、順延で参加チームが減ったものの、1試合1試合が接戦で見ごたえのある大会になりました。特に決勝戦は時間内に決着がつかず、タイブレークへ。2回行っても決着がつかないため、最後はじゃんけんで勝敗を決めました。

- 【優勝】達沢・大原チーム
- 【準優勝】三城瀧チーム



優勝した達沢・大原チーム(左)と準優勝の三城瀧チーム

イベントのお知らせ

■第3回町民バドミントン大会

町民バドミントン大会を開催します。日ごろ運動していない人、これから運動しようと思っている人など、この機会に参加してみませんか。

- 日時：12月5日(日) 午前8時30分集合
- 場所：カメリーナ(サブアリーナ)
- 参加料：一人500円(シャトル代、景品代)
- 競技方法：親子の部(小学生と親)、中学生の部、高校・一般の部、シニア・初心者の部(ダブルス、シングルス)
- ※試合はブロックリーグで行う。ポイント、セット数は参加者によって制限することもある
- 持ち物：昼食、シューズ、ラケット
- 申し込み期限：11月24日(水)
- 猪苗代町バドミントンクラブ 眞田隆 ☎62-2833
- その他：大会終了後、景品がもらえる抽選会あり
- ※大会に参加する人は毎週水曜日にカメリーナで練習できます。

■2010 いなわしろ音楽祭

毎年恒例の「いなわしろ音楽祭」を今年も開催します。町内の団体などが、日ごろの練習の成果を発表。音楽を通じて世代を超えた交流、さらには豊かな自然とすべての命を大切にする活気あるまちづくりを目標に演奏します。皆さんの来場をお待ちしています。

- 日時：12月11日(土)
午後1時30分開演(午後1時開場)
- 場所：学びいなホール
- 参加団体：千里幼稚園、町内各小・中学校、猪苗代高校、ぼんたい荘「あおば」、陸上自衛隊郡山駐屯地音楽隊、猪苗代吹奏楽団
- 費用：無料



教育委員会コラム

第七回

長引く不況がなかなか好転しない。課題は山積みしているが、わが国にとつて急務なのは「財政再建」だといわれている。

江戸期の会津藩で、破綻しかけた財政を再建した人物として、今でも引き合いに出されるのが、五代藩主松平容頌(しばしば敬愛の念を込め五代様と呼ばれる)と家老田中玄宰である。

今とは時代も条件も大きく異なるので単純に比較できないが、藩祖保科公伝来の手法と『スピリット』は参考にすべき点が多い。経済・産業、軍事、民事、裁判や教育と多岐にわたる改革を断行し、藩全体を見事に立て直した。

中でも際立つのは、最重要施策を人材育成におき、全国屈指の学校(藩校)、会津日新館を作ったことである。

容頌公は、教授方の充実を目指し、江戸でも一流と評判の高かった岡山藩儒者古屋昔陽の招聘を考えた。しかし、会津が遠隔地のため昔陽は何度要請されても承諾しなかった。

一計を案じ、ある日、江戸城和田倉門内(現在の東京都千代田区皇居外苑)の会津藩邸に昔陽を招き入れた。無理やり上座につかせ、すかさず容頌公は下座から深々頭を下げ、会津行きを懇請されたという。これにはさすがの昔陽も肝をつぶし、承知せざるを得なかったのである。

(土屋)